

OKINAWA PREFECTURAL COLLEGE OF NURSING



沖縄県立看護大学

大学案内

2017年度 SCHOOL GUIDE



学長あいさつ

沖縄県立看護大学は1999年に1学部1学科で出発し、現在は看護学部の他、保健看護学研究科博士前期課程・後期課程と、別科助産専攻が設置されています。学部教育では看護のジェネラリスト、大学院博士前期課程では高度実践看護師（専門看護師やナースプラクティショナー）など特定看護分野のスペシャリストや実践現場でのリーダー、看護管理者、看護教育者、博士後期課程では看護分野における教育研究者、別科助産専攻では助産師を育成しています。全在籍学生数が400名足らずの小さな大学ですが、看護分野における多様な人材育成に取り組んでいます。

沖縄県は日本の最南端に位置しアジアに開かれた離島県という地理的特性から、様々な文化や人々と接し交流する中で多様性を受け入れ、他者と協調・共生しつつ独自の地域文化を育んできました。先の大戦では地上戦を経験し、多くの命と文化遺産を失いました。看護教育に関しても戦前あった看護学校は戦禍によって消失し、終戦翌年に設置された病院附属の3つの看護学校から新たに始まりました。沖縄県立看護大学は大学での看護教育を求める社会的な動きに加えて、先輩諸姉の強い願いが後押しとなって設立されました。過去の歴史の積み重ねの上に現在があり、現在の歩みの先に未来が拓かれることを心にとめて歩みを進めていきたいと思っています。

現代社会の変化はめまぐるしく、日本全体が直面する少子高齢社会は待ったなしに目前に迫っています。これまで看護職の多くは病院などの医療機関で健康回復への支援をしてきましたが、その活動は地域や保健医療福祉の様々な場に広がってきています。卒業後、どのような活動の場であっても、看護の視点から生活者としての対象者を見つめることができ、必要な看護を考え提供していけるよう、本学では、開学当初より保健師および看護師の統合カリキュラムを導入しています。現在は、ある特定の職種だけで人々の健康上の課題に取り組むことは難しくなっており、今後ますます、多職種間の協働・連携が必要になってきます。学部、大学院、別科での教育を通して、看護職としてのアイデンティティーの確立・深化と共に、多職種と協働・連携する力を育んでいきます。

本学では大学院生のほとんどが実践現場で働きながら学んでいます。離島を多く有していますので、離島で仕事をしながらでも大学院で学べるよう、ICTを活用した遠隔教育の環境整備を進めています。また、助産師不足の解消のために設置された別科助産専攻の修了生も毎年約20名が修了しており、そのほとんどが県内に就職していますが、助産師不足の解消には至っていません。量の確保と共に、沖縄県の母子保健の課題解決を担う助産師の育成に取り組んでいきます。

沖縄県の看護職育成の中核機関として、社会の変化を見据え地域のニーズを反映した看護の人材育成と大学の資源を活用した地域貢献を通して、人々の健康と福祉に貢献するために、教職員、学生、地域社会、行政と目的を共有し、よりよい大学づくりを目指します。



沖縄県立看護大学学長
嘉手苺 英子

大学の使命

本学の使命は、沖縄の地理・歴史・文化、看護を取り巻く今日の状況および社会的要請、また、グローバル時代における人々の健康上のニーズおよび学生・院生の学習上のニーズを踏まえて、看護を科学的に実践できる質の高い人材を育成することです。すなわち、保健・医療・福祉の分野において県民の期待に応える、質の高い看護職者の育成を図り、同時に看護の教育、研究および実践の中核的機関として看護実践および学術的發展に寄与することです。

教育理念

本学の教育理念は、設置の趣旨に基づき、生命の尊厳を重視し豊かな人間性を養い、多様化・国際化の進む社会で幅広い視野を持ち、看護を科学的に実践できる看護職者を育成し、人々の健康と福祉への貢献をめざします。

CONTENTS

3つのポリシー	2
教養課程の編成	3
教育科目の年次配置	4
資格取得要件と国家試験合格率	6
看護学部・別科助産専攻Q&A	7
年間行事・サークル	8
学生サポート・在校生の声	10
卒業生メッセージ	11
大学院	12
大学院生の声	14
別科助産専攻	15
地域連携	16
国際交流	17
施設	18
実習施設一覧	19
沿革・教員一覧	20



3つのポリシー

入学受入方針（アドミッションポリシー）

1. 人の生命と健康に関心を持ち、看護職者として社会に貢献したいという意欲を持った方
2. 幅広く学問を学ぶ能力を持ち、主体的に学習する習慣を身に付けた方
3. 離島・過疎地域医療を含めた沖縄の看護に関心を持つ方
4. 異なる文化に関心を持ち、国際的な視野で看護を学ぶ意欲を持った方
5. 本学の教育方針に従い、規則を遵守し、学業に専念できる方

教育課程の編成・実施方針（カリキュラムポリシー）

1. 21世紀の市民としてふさわしい知性と態度を磨くために、充実した教養科目を設定する。
2. 多様な場や対象の健康レベルにあわせた看護実践力を身につけるため、専門関連科目は原則として専門教養科目から統合科目へと段階的に配置すると共に、教育効果を考慮した柔軟な配置も行う。
3. 科学的思考に基づく看護実践力を身につけるため、看護の専門職に必要な知識・技術・態度を、基礎から応用へと段階的に学習するよう科目を配置する。
4. 看護の対象となる人間を成長・発達にそって身体的・精神的・社会的側面から理解するため、周産期から老年期へと段階的に学習するよう科目を配置する。
5. 学習効果を高めるため、講義・演習及び実習など多様な学習形態の科目を組み合わせる。
6. 本県が島嶼県であることや太平洋に開かれた地域であることを理解し、グローバルな視点とローカルな視点の両面から保健看護が実践できるよう科目を設定する。
7. 学びを統合できる力と生涯学習能力を養うため統合科目を設定する。

学位授与方針（ディプロマポリシー）

1. 生命の尊厳を尊重する倫理観を備えた豊かな人間性を身につけている。
2. 常識ある社会人としての知性と豊かな感性、および創造力を有している。
3. 看護の専門職に必要な知識・技術・態度を修得し、科学的な根拠に基づく判断と問題解決の能力を有している。
4. 保健・医療・福祉の概念を共有し、関係職種との連携の中で専門職者としての看護の役割を担う事ができる。
5. 自己の看護実践を振り返るリフレクション能力と生涯学習能力を有している。
6. 人間のおかれた地理的文化的特性を理解し、地域に根ざした保健看護活動ができる能力とともに、国際的視野で保健看護活動ができる能力を有している。
7. 研究的態度を身につけ、保健看護活動をとらして看護の発展に寄与する能力を有している。

<教育課程の編成>

専門関連科目

統合科目

統合科目は、看護職者として倫理観を持ち、自らを律し、他者と連携し専門職者として看護の役割を担う能力を養うための科目群である。また、統合的な学習経験と創造的思考により質の高い看護を実践する能力を身につける。そして、看護職者として社会的責任を果たすために、生涯学習能力を養う。

生涯発達看護科目

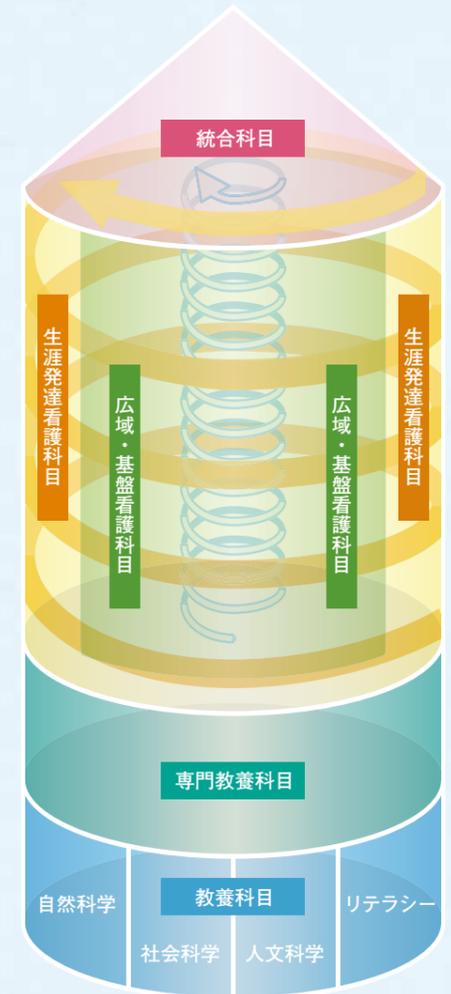
生涯発達看護科目は、一人の人間が生を受けてから死ぬまでの生涯にわたる各発達段階、すなわち周産期、小児期、成人期、老年期の各期にある対象の特徴に応じて、家族も含めて適切な看護を実践する能力を養う科目群である。

広域・基盤看護科目

広域・基盤看護科目は、看護実践の基礎として、またあらゆる発達段階の人々の看護に共通して必要な知識・技術・態度を学ぶ科目群である。また、多様な生活や治療・療養の場における多様な対象者に健康へのアプローチを、身体的・精神的・社会的な側面から看護を実践する能力を培う。また、家族・集団を加えたコミュニティの特徴を学び、場と対象に応じた看護を実践する能力を培う。

専門教養科目

専門教養科目は、保健看護をより広く、科学的に学習していく準備として習得せねばならない科目群から構成されている。これらの科目は看護学周辺領域の学問、すなわち医学、保健学、社会学、心理学、リハビリテーション等の基礎的知識や技術であり、人間の健康を身体的・精神的・社会的な側面から多面的に捉え、科学的根拠に基づく判断力を養う科目群である。また、地域社会における健康を論理的に思考するために活用される知識・技術も学習する。



教養科目

教養科目は、広く人間を理解する科目、自然現象を理解する科目、社会のしくみを理解する科目、及び生命の尊厳を尊重する科目で構成され、幅広く学問を学ぶことにより、社会に求められる市民にふさわしい知性と感性を高め創造力を養う科目群である。また、沖縄の歴史、文化、芸能などを通して人間のおかれた地理的文化的特性を理解するとともに、情報化社会や国際社会に対応できるように学際的学びの基礎をつくる。

CURRICULUM

教育科目の年次配置

		第1段階		第2段階		第3段階		第4段階		
専門 関連科目	実習	早期体験実習 PICK UP		地域保健看護実習 I 老年保健看護実習 I		精神保健看護実習 II 周産期保健看護実習 II 小児保健看護実習 II 成人保健看護実習 II		クリティカル・緩和ケア実習 老年保健看護実習 II 〔助産実習(選択)〕		
	講義 演習	看護学原論 看護専門職論 I 疫学と保健医療情報 身体活動論 人体の構造と機能 人間関係論		生活人間発達論 生活援助・療養援助技術 I 保健医療情報演習 人体の構造と機能演習 I 栄養と代謝 微生物と免疫 臨床心理		生活援助・療養援助技術実習 精神保健看護実習 I 周産期保健看護実習 I 小児保健看護実習 I 成人保健看護実習 I		〔助産実践論(選択) 基礎助産学(選択) 助産診断・技術学(選択)〕		
教養 科目		生物学(選択) 化学(選択) 数学(選択) 沖縄の生活と文化 哲学(選択) 心理学 文学(選択) 歴史学(選択) 英語 I 看護大学ゼミナール I PICK UP		日本語表現法 英語 II		ヘルスアセスメント PICK UP 生活援助・療養援助技術 II 精神保健看護 I 地域保健看護 I 周産期保健看護 I 小児保健看護 I 成人保健看護 I 老年保健看護 I 病態生理		〔ウイメンズヘルスサイエンス(選択)〕 PICK UP		
		地理学(選択) 環境学(選択) 社会学(選択) 経済学(選択) 情報学(選択) 教育学(選択) 英語 III(選択) 中国語 I(選択) スペイン語 I(選択)		英語 IV(選択) 中国語 II(選択) スペイン語 II(選択)		生活援助・療養援助技術 III クリティカル・緩和ケア論 精神保健看護 II 地域保健看護 II 周産期保健看護 II 小児保健看護 II 成人保健看護 II 老年保健看護 II		〔島嶼保健看護 国際保健看護〕(選択必修)		
学期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
学年	1年次		2年次		3年次		4年次			
					保健医療福祉制度 身体活動論演習(選択) 人体の構造と機能演習 II リハビリテーション論		看護大学ゼミナール III 看護専門職論 II		看護卒業論文 看護総合演習 (選択必修)	

Pick Up Curriculum 特色ある科目

早期体験実習

1年次

看護実践の様々な場または地域において、モデル看護職者の仕事を観察し、自由に対話する中から、看護を必要としている人々やその他の医療従事者・関連職種との対話から、さらに学生同士の討論や役割モデルとなる看護職者の講演などをとおして、看護という職業の社会的意義や社会における期待、必要性、そして今後の職業的準備のあり方について学習する。



看護大学ゼミナール I~III

1~3年次

看護大学ゼミナール I~IIIは、学年進行と共に扱う課題が異なる。1年次(I)では学生の身近な問題に焦点を当て、2年次(II)では地域社会の健康課題に注目し、3年次(III)では現在の看護に関わる課題を見つけ、少人数のチームとして学生自ら、主体的に創造的に課題解決に取り組む。その過程を通して、能動的学習能力、問題解決能力、チームワーク力を獲得する。



島嶼保健看護

4年次

島嶼で生活する人々及び地域全体を、地理、歴史、文化、経済、保健医療福祉制度などの視点から総合的に捉え、島嶼の保健・医療・看護の現状と課題を理解する。また、事前学習をもとに離島訪問を行い、地域住民・関係者へのインタビュー、地区踏査を踏まえ島嶼の地域特性を活かした看護職者の役割を考察し、今後の看護実践に役立てる。



国際保健看護

4年次

グローバルな視野から諸外国の地理的環境、歴史、文化、経済、医療政策、健康状態の動向および対策、保健看護事情と人々の生活を理解し、日本国内に在住する外国人の背景と現状を理解する。それらを踏まえて健康に影響を与える要因および保健医療福祉が果たす役割について考察できる。



LICENSE

沖縄県立看護大学資格取得要件

取得可能資格	<ul style="list-style-type: none"> ●看護師国家試験受験資格 ●保健師国家試験受験資格 ●助産師国家試験受験資格* ●養護教諭2種免許状
修業年限	4年
卒業までの単位数	130単位以上
卒業者に対する称号	学士（看護学）
学位取得と大学院への進学	<ul style="list-style-type: none"> ●学士の学位取得可能 ●大学院への進学可能

*助産師国家試験受験資格を得るためには、加えて20単位の履修が必要です。



国家試験合格状況の推移(看護師、保健師、助産師)

平成14年度卒業生（1期生）～平成27年度卒業生（14期生）

【看護学部】

実施年度	期	看護師				保健師				助産師			
		受験者数(人)	合格者数(人)	合格率(本学)(%)	合格率(全国)(%)	受験者数(人)	合格者数(人)	合格率(本学)(%)	合格率(全国)(%)	受験者数(人)	合格者数(人)	合格率(本学)(%)	合格率(全国)(%)
平成14年度	1期生	71	70	98.6	92.6	71	66	93.0	91.5	9	9	100.0	89.2
平成15年度	2期生	80	75	93.8	91.2	80	69	86.3	92.8	4	4	100.0	92.6
平成16年度	3期生	79	77	97.5	91.4	79	71	89.9	81.5	7	7	100.0	99.7
平成17年度	4期生	78	76	97.4	88.3	79	65	82.3	78.7	5	5	100.0	98.1
平成18年度	5期生	79	77	97.5	90.6	78	78	100.0	99.0	10	10	100.0	94.3
平成19年度	6期生	81	79	97.5	90.3	81	76	93.8	91.1	10	9	90.0	98.1
平成20年度	7期生	74	68	91.9	89.9	74	72	97.3	97.7	7	7	100.0	99.9
平成21年度	8期生	74	72	97.3	89.5	74	60	81.1	86.6	5	5	100.0	83.1
平成22年度	9期生	78	78	100.0	91.8	78	76	97.4	86.3	10	9	90.0	97.2
平成23年度	10期生	77	75	97.4	90.1	77	74	96.1	86.0	10	10	100.0	95.0
平成24年度	11期生	83	81	97.6	88.8	83	81	97.6	96.0	10	10	100.0	98.1
平成25年度	12期生	75	73	97.3	89.8	75	72	96.0	86.5	8	8	100.0	96.9
平成26年度	13期生	78	76	97.4	95.5	78	78	100	99.6	9	9	100.0	99.9
平成27年度	14期生	78	77	97.4	94.9	78	76	97.4	92.6	7	7	100.0	99.8
合計		1085	1054	97.1	91.1	1085	1014	93.5	90.4	111	109	98.2	95.9

平成28年4月1日現在

看護学部 Q&A

Q 特別選抜の推薦について一般・地域・社会人別に人数の枠があるのですか？

A 特別選抜試験は、一般推薦、地域推薦、社会人特別選抜の3形態ありますが、入学定員は3形態まとめて20人となり、入試区分毎の定員は設定していません。

Q 入学料はいくらですか？

A 入学料は、沖縄県内居住者は282,000円、その他の者は512,000円となっています。(平成28年度)

Q 授業料はいくらですか？

A 授業料は、年間535,800円で、前期と後期に分けて徴収します。その他に、教科書代が約5～6万円(1年間)、後援会費が5万円(4年間)、入学時に同窓会費2万円などが必要です。(平成28年度)

Q 入学料や授業料の減免について

A 天災その他不慮の災害により学費の負担に堪えられなくなった方や生活保護法により保護を受けている方等は、減免制度を利用することができます。詳細は学務課へお問い合わせください。

Q 奨学金について

A 奨学金は、人物・学業優秀な学生が、経済的理由により就学困難と認められる場合に、学資として貸与される制度です。独立行政法人日本学生支援機構、地方公共団体、病院等の奨学金、修学資金の制度があります。詳細は学務課へお問い合わせください。

(例)独立行政法人日本学生支援機構

第一種奨学金：無利子貸与 月額

(<自宅>30,000円または45,000円)
(<自宅外>30,000円または51,000円)

第二種奨学金：有利子貸与 月額(30,000円、50,000円、80,000円、100,000円、120,000円から選択)

就職についてはP11へ

Q 就職率はどれくらいですか？

A 平成27年度卒業生の就職率は98.7%です。

Q 卒業生の進路はどのようになっていますか？

A 平成27年度卒業生78人の進路は、看護師69人(88.5%)、保健師6人(7.7%)、助産師2人(2.6%)、進学1人(1.3%)です。

卒業後の進路についてはP11へ

別科助産専攻 Q&A

別科助産専攻についてはP15へ

Q 入学料及び授業料はいくらですか？

A 看護学部と同額です。

Q 奨学金について

A 沖縄県看護師等修学資金(例 第一種修学資金 月額32,000円)、沖縄県看護協会奨学金(例 月額26,000円)等があります。

Q 別科助産専攻とは何ですか？

A 看護師の資格を有する者が助産師国家試験受験資格を取得するために、入学試験を受けて1年間学ぶ課程です。入学定員は20人(女子のみ)です。

Q 試験の方法はどのようになっていますか？

A 推薦選抜、社会人特別選抜、一般選抜の3形態の試験区分があり、募集人員は推薦選抜5人、社会人特別選抜5人、一般選抜10人となっています。

Q 県外の病院に勤務する看護師は、推薦選抜、社会人特別選抜を受験できますか？

A 受験することはできません。出願資格が推薦選抜は沖縄県内の産婦人科病院・診療所に3年以上勤務し施設長の推薦が必要となっています。また、社会人特別選抜は現在沖縄県内の医療施設等で就業している者となっています。

楽しいサークル みんなイキイキ キャンパスライフ!

Enjoy! Campus Life!

サークル活動



野球・球技サークル



マラソンサークル



バドミントンサークル



フットサルサークル



スポーツ全般サークル



三線サークル



ソフトテニスサークル



バスケットボールサークル



筋トレサークル



軽音楽サークル

Check it!
個性的な
サークルも
あります。

いしたかサークル
将来看護職に就いた時に使える技術を身につけることを目標としたサークルです。認知症サポーターの講座や応急手当講習への参加も行っています。

美ら笑ば〜サークル
障がいや病気のあるこどもと家族のための地域ふれあいサポートを行っています。

アジア保健医療研究会
アジアの国々の文化・医療について学びます。

性・命の達人 キラリサークル
性教育や出産・子育てなど、性・生命の大切さを伝える活動をしています。

学生チャンプルー
学生・教員・地域の方々との交流の場づくり、及び看護学生コンソーシアムとしての活動を行っています。

Campus Calendar 年間行事

<p>4 April</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 入学式 ● 前期授業開始 ● 宿泊オリエンテーション <p>入学式</p>	<p>5 May</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 渡嘉敷研修 ● 開学記念日(5月15日) <p>宿泊オリエンテーション</p>	<p>6 June</p> <ul style="list-style-type: none"> ● オープンキャンパス <p>オープンキャンパス</p>	<p>7 July</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 看大祭 <p>看大祭</p>	<p>8 August</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 夏季休業 ● 海外研修セミナー(ハワイ) 	<p>9 September</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 看大祭 	<p>10 October</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 後期授業開始 ● 大学院入試 	<p>11 November</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 特別選抜入試(看護学科) ● 社会人・特別選抜入試(別科助産専攻) 	<p>12 December</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 冬季休業 	<p>1 January</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 大学入試センター試験 	<p>2 February</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 一般選抜入試(別科助産専攻・看護学科 前期) <p>学内演習</p>	<p>3 March</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 一般選抜入試(看護学科 後期) ● 卒業式・修了式 ● 春季休業 <p>卒業式・修了式</p>
--	---	--	--	---	--	---	---	---	---	--	--

SUPPORT

学生サポート

SUPPORT 1

修学に関する支援

- 修学相談
担任制を導入し、修学を含め学生生活全般における個別相談に対応しています。
- 国家試験対策講座の開催 (8月、12月、1月)
- 異学年との交流

SUPPORT 3

進路・就職に関する支援

「進路決定への手引き」を配付し、就職セミナー開催や進学に関する情報提供を行っています。

SUPPORT 2

学生生活に関する支援

- 学年別ガイダンスの開催
毎年4月にガイダンスを実施し「学生生活の心得」を配付して学生生活に必要な情報提供を行っています。

SUPPORT 4

心身の健康に関する相談

保健室では健康相談の窓口として健康増進、疾病予防をすすめています。また、スクールカウンセラーの導入で、学生の心身の健康サポートを行っています。



Voice 在校生の声



平成27年度入学
仲間 千夏

私には「人の心を動かすことの出来る保健師になる」という夢があります。その夢を実現するために、似た夢を持つ学生が多く、またより専門的な知識と技術を学ぶことが出来る単科大学の沖縄県立看護大学に入学しました。

本学は、グループ学習が多く他の学生と意見を交わし共有する時間が多いため、多くの「気づき」に繋がり、色々な角度から物事を捉える力も養うことが出来ます。さらに、球技大会や大学祭等で行う行事が多々あり絆を深め合うことができます。

時には真剣に、時には楽しく、充実したキャンパスライフをこの沖縄県立看護大学で一緒に過ごしましょう！



平成25年度入学
森下 智基

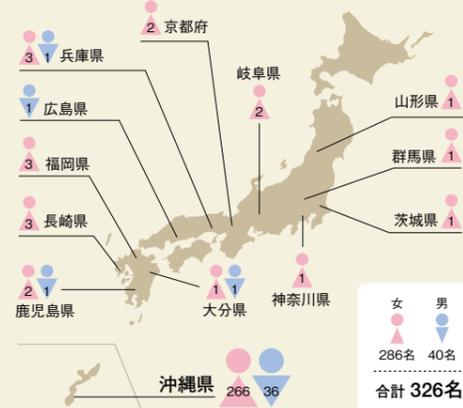
私は、看護師になりたいのか分からないまま入学しました。しかし日々学んでいく中で、看護師として関わりたい分野も見つかりました。

本学は単科大学ですが、皆が同じ目標・夢を持っている訳ではありません。国家試験合格という目標は皆、同じで

すが、その先はそれぞれの目標・夢に進みます。また、本学には様々な価値観、考えを持った仲間がいます。積極的に友人、先輩、教員と関わることで視野が広がり、様々な考え方を学べます。

Data

出身都道府県別在籍者数 (平成28年4月現在)



年次別・県内県外別・在籍者数

	県内	県外	小計
1年次	75	5	80
2年次	74	9	83
3年次	72	7	79
4年次	81	3	84
計	302	24	326

平成28年度入試形態別入学者数 (受験者数・受験倍率)

募集区分	定員	入学者				受験者		
		入学者数	男	女	県内	県外	受験者数	倍率
一般選抜	前期日程	50	6	44	46	4	131	2.6
	後期日程	10	2	8	9	1	65	6.5
	一般推薦	18	2	16	18	0	29	
特別選抜	地域推薦	20	2	0	2	0	3	1.8
	社会人特別選抜	0	0	0	0	0	4	
計	80	80	10	70	75	5	232	2.9

OG・OB MESSAGE

卒業生の声



看護師

琉球大学医学部附属病院 第二外科病棟 勤務
9期生
嘉陽 真澄

私の病棟は、心臓外科が専門であり、手術後の入院患者が多く、看護師としての責任を重く感じます。患者さまとの信頼関係を築き、安心して治療に専念し元気に退院していく姿を見るのが私の生きがいです。大学時代は、指導して頂いた先生方や同じ志を持つ同期のおかげで実習や課題に励むことができ、とても充実した大学生活を送ることができました。大学で学んだ「患者の立場になって考える」ことを常に心がけています。



助産師

社会福祉法人聖母会 聖母病院 産婦人科 勤務
9期生
富川 恵

私は県立病院で3年間勤務し、現在は東京の病院で助産師として働いています。時には命の重みや自分の不甲斐なさに潰れそうになることもありますが、妊婦さんやそのご家族からのありがとうの一言に励まされ頑張っています。大学ではハードな時期もありましたが先生方と仲間を支えられ乗り越えることができました。今でも先生方は良き相談者であり、同期はかけがえない存在です。皆さんも大学生活で多くのことを学び、有意義で楽しい時間を送ってください。



保健師

ちばなクリニック健康管理センター 勤務
6期生
長濱 亮太

私は卒業後、県内外の大学病院で内科病棟・ICUと6年間勤務しました。その中で患者と接し訴えを聴くうちに、次第に予防の分野へ興味を持ちはじめました。同時に医療者自身の健康が看護を提供するうえで重要ではないかという思いもあり、病院(企業)という場で勤務する産業保健師としての道を選択しました。大学時代に友人と共に学んだことは今でも忘れられません。みなさんも看護の道の一步を踏み出してみませんか。



養護教諭

名護市立屋部中学校 勤務
5期生
稲福 亜沙子

私は卒業後、養護教諭、保健師、看護師を経て、現在は名護市の中学校で養護教諭として勤務しています。保健室には元気な生徒から心や体に不調を抱えた生徒まで来室します。私は養護教諭として、生徒一人ひとりの「今」だけでなく、多くの可能性を秘めた「未来」を想像し、彼らが心身ともに健康・安全に人生を生きる力が身につくよう日々関わっています。この大学での多くの人との出会いが大きな財産となり、今の私を支えています。

Data

卒業生の就職・進学状況

平成27年度卒業78名

進学 (1名)

- ・熊本大学養護教諭特別別科 (1名)

就職 (76名)

		県内		県外		合計
		人数	割合	人数	割合	
看護師	国公立	22	67.1%	3	32.9%	26
	その他	22		21		43
	計	44		24		69
保健師	国公立	3		0		3
	その他	2		1		3
	計	5		1		6
助産師	国公立	2		0		2
	その他	2		0		2
	計	4		0		4
合計		51		25		76

県内 (51名)

- ・伊是名村役場 (1名)
- ・糸満市役所 (1名)
- ・浦添総合病院 (1名)
- ・沖縄県 (1名)
- ・沖縄県立病院 (12名)
- ・沖縄県健康づくり財団 (1名)
- ・沖縄赤十字病院 (12名)
- ・オリブ山病院 (1名)
- ・中部徳洲会病院 (3名)
- ・豊見城中央病院 (1名)
- ・中頭病院 (3名)
- ・那覇市立病院 (1名)
- ・南部徳洲会病院 (3名)
- ・琉球大学医学部附属病院 (9名)
- ・那覇市地域包括支援センター若狭 (1名)

県外 (25名)

- ・あさい病院 (1名)
- ・アルメイダ病院 (1名)
- ・学研都市病院 (1名)
- ・上尾中央総合病院 (1名)
- ・九州中央病院 (1名)
- ・九段坂病院 (1名)
- ・虎ノ門病院 (2名)
- ・横浜栄共済病院 (1名)
- ・横浜南共済病院 (2名)
- ・高井病院 (1名)
- ・千葉徳洲会病院 (2名)
- ・東京北医療センター (1名)
- ・長谷川病院 (1名)
- ・東住吉森本病院 (1名)
- ・東京歯科大学市川総合病院 (2名)
- ・京都府立医科大学附属病院 (1名)
- ・佐賀大学医学部附属病院 (1名)
- ・長崎みなとメディカルセンター 市民病院 (1名)
- ・福岡赤十字病院 (2名)
- ・代々木病院 (1名)

大学院 | 保健看護学研究科

教育研究分野・領域の概要

分野	領域	博士前期課程	博士後期課程	研究指導教員／主な教育・研究分野（キーワード）
文化間 保健看護	保健看護管理・教育	特定「文化」をキーワードとしてマクロレベルでの新興感染症への対策、ミクロレベルでの生活習慣と価値観の異なる人々の健康生活上に向けた管理的貢献、プライマリー・ケアを重視した行政的施策と費用効果、病院・病棟の疾病管理と人々の健康管理など実践的看護管理活動を分析・評価し、複雑化した課題に対応できる卓越した実践家、教育研究者養成に必要な能力の向上を図る。看護を取り巻く社会や科学の発達に対応して変化・発展する看護観及び看護技術が、看護者個々や集団においてどのように形成され修得されるのかを学ぶ。さらに、看護基礎教育及び現任教育における教育方法の開発、看護実践における看護者の教育能力開発の方法を探究し、看護基礎教育の担い手である人材の育成や保健看護分野における実践者の教育指導能力の向上を図る。	文化間保健看護の立場から、特定「文化」の枠組に基づき国境を越えて個人、地域、国レベルで健康上の問題解決、新しい保健看護管理の探求、また、通文化的、あるいは特異的ヘルスクエア評価、公的サービスと調整、看護ケアのコスト及びコスト効果分析(ケアの結果と質の測定)など高いレベルの分析・評価と対応策を探究する。保健看護実践及び教育が多様な文化の影響を受けながら発展すると共に、文化へも影響を与えることを前提にした広い視野を持つ、高いレベルの保健看護教育の実践者および看護学の発展に寄与する人材育成に関する理論を探究する。	嘉手苅 英子 <small>前期 後期</small> 教育／保健看護教育 研究／看護の変遷、看護教育方法
	地域・精神保健看護	地域社会及びハイリスク集団を対象とした施策、計画、実施、結果、評価の学習をする。また、ミクロのレベルでは地域で健康上のリスク者への保健看護実践、ヘルスプロモーション、健康教育(疾病教育)などにおいて適切な研究的アプローチを行い、最近の知識を応用し、問題解決のためのリーダーとなる能力の向上を図る。精神保健相談時の受理面接、コンサルテーションなど専門的技術を身につけ、また、サービスの質向上のために先行研究結果を実践に応用し、活用する実践家、あるいは教育研究者となる能力の向上を図る。また、高度実践看護師(精神看護)に必要な高度な実践能力の育成を図る。	上級管理者など、より高度な立場から実践活動に従事、複雑な研究テーマへの取り組み、博士前期課程の教育を行う教育者、あるいは自立した研究者として新たな学問的発展を図る。文化的枠組みで人々のメンタルヘルスおよびリスク者や集団のため、法律・政策、条例の制定などにより高度な学術的観点から提言、同時にこの分野の教育者、あるいは自立した研究者として新たな学問的発展を図る。	宮城 恵子 <small>前期</small> 教育／保健看護管理 研究／看護職者のキャリア開発 川崎 道子 <small>前期</small> 教育／地域保健看護 研究／行政保健師の職務遂行能力、育児不安など 大湾 明美 <small>前期</small> 教育／コミュニティアセスメント、文化看護 研究／地域包括ケアシステム、住民の主体性 藤野 裕子 <small>前期</small> 教育／精神保健看護、精神看護専門看護師教育 研究／精神科看護、地域精神看護、メンタルヘルス
生涯発達 保健看護	母性・小児保健看護	卓越した専門家として病院・地域で妊・産婦や新生児及び家族に高度な専門的ケアの提供、母性の問題解決のため学際的チームの調整的役割、リプロダクティブ・ヘルス/ライツへの適切な支援の提供、ハイリスク女性・妊婦・新生児の評価と支援、実践的専門家としての指導者、あるいは教育研究の能力の向上を図る。高度な専門看護職者として、それぞれの職場の保健看護システムの中で小児保健看護上の課題を認識し、質の高いケア提供を計画、実施、評価し、指導的役割を果たし、また、疾病の有無にかかわらず子どもの発達状態の評価と支援技術、ケア提供の医療環境/制度に関する実践可能な好ましい方策実施を図る。また、高度実践看護師(小児看護)に必要な高度な実践能力の育成を図る。	母性保健看護及び助産に関して、生涯発達の視野に立ち課題をみつけ、実践・分析、評価、統合し、知見創出により実践的及び教育的、学術的に母性の健康と看護学の発展を図る。子どもと家族の健康上の課題の解決に既存の研究結果を応用、新たな研究課題の発見、計画・実施・評価し、新しい実践的、学術的、教育的貢献を図る。	永島 すえみ <small>前期 後期</small> 教育／小児看護専門看護師教育、小児保健看護 研究／子どもと看護師の関わりや子どもの発達など
	成人・老年保健看護	成人期のヘルスプロモーション、健康政策、疾病予防、リスク軽減及び急性期・慢性期の高度なケアの実践と改善、学際的な研究的活動、また、医療システムと成人期患者ケアの質の分析と評価、中間管理職のレベルで看護の質向上を図る。また、高度実践看護師(慢性看護・がん看護)に必要な高度な実践能力の育成を図る。老年保健看護領域で、直接的なケアプランの作成と提供、ケア提供チームにおける看護実践と管理、ケアの評価と統合・調整できる老年保健看護専門職者、同時に研究能力の向上を図る。また、高度実践看護師(老年看護)に必要な高度な実践能力の育成を図る。	特に遠隔教育などの積極的活用によって他職種と連携し、上級管理職のレベルで医療・保健機関の管理、教育的機関での教育研究活動、また、複雑なケース・マネジメントの実践、高度な学術的、教育的貢献を図る。高齢者のケアの質とQOL向上に向けて年代、時代にふさわしい新たな研究と知の創造をめざし看護職の立場から方法、技法の開発、実践現場への支援、自立した教育研究による学術的な貢献を図る。	神里 みどり <small>前期 後期</small> 教育／がん看護専門看護師教育、成人保健看護 研究／がん患者の苦痛症状の緩和、終末期看護など 山本 敬子 <small>前期</small> 教育／慢性疾患看護専門看護師教育、成人保健看護 研究／糖尿病患者教育、緩和ケア開発 大湾 明美 <small>前期 後期</small> 教育／高度実践看護師教育、高齢者の在宅ケア 研究／高齢者のセルフケア、社会貢献
先端 保健看護	新領域保健看護	上記特定の領域に分類できない、あるいは共通する新たな看護上の課題解決方法、技術、看護上の新たな課題への研究的アプローチ、例えば臓器移植看護とそのコーディネーターとしての役割、遠隔保健看護の実践・教育研究に必要な知識と技術などの向上を図る。	保健看護上に新たに生じた課題を解決するために学際的、国際的に必要な情報を収集・分析し、課題解決の計画、実施、評価を行い、看護実践における質の向上を図る。また、各領域に共通する新たな課題をみつけ解決する先端的研究方法の開発及び教育的貢献によって人々の健康上の新たなニーズへの対応策を探究する。	神里 みどり <small>前期 後期</small> 教育／臓器移植や補完代替療法(CAT)など 研究／運動療法やマッサージ療法などのエビデンス 金城 芳秀 <small>前期 後期</small> 教育／疫学、統計学、保健看護情報など 研究／健康関連行動に影響を及ぼす社会的環境・資源
	島嶼保健看護	島嶼看護の高度な実践ならびに実践的教育ができる看護指導者を育成する。保健・医療・福祉専門職者が少ない島嶼地区において、看護職者が果たす役割は大きい。特に保健医療福祉、教育・行政などの幅広い多職種ケア連携・協働による保健医療福祉活動を通して、島嶼住民の生活文化に根ざした看護を実践できる高度な島嶼看護専門能力を育成することを目指す。また、高度実践看護師に必要な高度な実践能力の育成を図る。	島嶼看護上に新たに生じた課題を解決するために学際的、国際的に必要な情報を収集・分析し、課題解決の計画、実施、評価を行い、島嶼看護実践における質の向上を図る。また、台湾等太平洋の島々ならびにハワイ・カウアイ島における地域文化保健看護に関する課題をみつけ解決する方法の開発及び教育的貢献によって人々の健康上のニーズに対応する新たな対応策について探索する。	大湾 明美 <small>前期 後期</small> 教育／島嶼と暮らし、島嶼の地域包括ケアシステム 研究／島嶼地域の看取り文化、島嶼看護の教育内容 神里 みどり <small>前期 後期</small> 教育／島嶼における高度実践看護師教育など 研究／島嶼保健看護に関する教育など

その他 / 学内教員15名、非常勤講師59名

大学院 Q & A

Q カリキュラムについて教えてください。

博士前期課程と博士後期課程には、保健看護管理・教育、地域・精神保健看護、母性・小児保健看護、成人・老年保健看護、新領域保健看護、島嶼保健看護の6領域があります。所定の科目の単位を取得して論文の審査に合格すれば修士(看護学)、または博士(看護学)の学位が得られます。また博士前期課程では精神看護、慢性疾患看護、老年看護、がん看護、小児看護、NP(プライマリーケア)の6つの高度実践看護師のコースがあります。修了時に高度実践看護師受験資格が得られます。

Q 働きながら学ぶことはできますか？

可能です。社会人が学びやすい環境を整備するため、博士前期・後期課程においては昼夜開講制を導入しており、月曜～金曜日の6・7時限(17:40～20:50)及び土曜、日曜日の1～5時限(8:40～17:30)に講義を開講しています。

Q 最終学歴が看護専門学校卒なのですが、大学院を受験することはできますか？

受験できます。但し受験資格の審査を受けていただく必要がありますので、募集要項をご確認の上、所定の期間内に手続きを行ってください。

Q 授業料について教えてください。

授業料は1年間535,800円(平成29年度)です。長期履修制度があり、標準修業年限での履修が困難な場合に博士前期課程で2年分の学費で3年間、博士後期課程では3年分の学費で4年間かけて履修することが可能です。授業料の減免や奨学金制度もあります。

Q 離島で勤務している場合でも大学院で学ぶことはできますか？

本学と宮古島市(宮古島教室:県立宮古病院内)、石垣市(八重山教室:県立八重山病院内)、久米島町(久米島教室:公立久米島病院内)を結ぶITを利用した遠隔講義システムが整備されています。同時・双方向で映像や音声データの通信が可能で、離島にいても講義を受けることができます。

Q 受験に際し、専門分野が決まっていない場合、どのように相談すればよいですか？

進学説明会(6月)やオープンキャンパス(7月)で個別説明会を開催しています。また、学務課(TEL:098-833-8800)では随時相談を受け付けていますので、お問い合わせ下さい。

Voice 大学院生の声



博士前期課程 生涯発達保健看護分野
母性・小児保健看護領域 実践小児看護

宮里 暁乃

私は沖縄県立看護大学の4期生として卒業し、看護師として県外の病院で実務経験を積みました。現在は本学の小児保健看護の助手として働きながら大学院で学んでいます。大学院の講義の多くは自分で調べてきたことをプレゼンテーションし、大学院生同士でディスカッションを行います。それらを通して学び方や考え方が鍛えられます。事例課題では、これまで出会った患者さんたちを思い起こし、時を経て、看護の意味や当時解決できなかったことをリフレクションしています。



博士後期課程 文化間保健看護分野
保健看護管理・教育領域 保健看護教育

砂川 悦子

私は、現在、臨床現場では皮膚・排泄ケア認定看護師として働いています。大学院での学びは、日常の看護実践に即活かされ学ぶことの楽しさを感じています。今後、地域包括医療が推進され、皮膚・排泄ケア認定看護師に求められる役割は、臨床から在宅へ拡大することが予測されます。患者様の看護の質を担保するには、継続した看護が欠かせません。様々な視点から看護観を深め、自分にできることは何かを模索し、学ぶ機会を活かしていきたいと思っています。

沖縄県立看護大学大学院年度別入学生状況

(単位:人)

		出身		性別		入学者計
		県内	県外	女	男	
平成16年4月入学生(1期生)	前期	5	1	5	1	6
	後期	2	0	1	1	2
平成17年4月入学生(2期生)	前期	5	4	8	1	9
	後期	0	2	2	0	2
平成18年4月入学生(3期生)	前期	6	0	6	0	6
	後期	1	1	2	0	2
平成19年4月入学生(4期生)	前期	7	0	6	1	7
	後期	0	2	2	0	2
平成20年4月入学生(5期生)	前期	5	2	7	0	7
	後期	2	1	3	0	3
平成21年4月入学生(6期生)	前期	8	0	7	1	8
	後期	4	0	3	1	4
平成22年4月入学生(7期生)	前期	9	0	9	0	9
	後期	3	0	3	0	3
平成23年4月入学生(8期生)	前期	6	0	6	0	6
	後期	1	1	1	1	2
平成24年4月入学生(9期生)	前期	8	0	8	0	8
	後期	1	0	1	0	1
平成25年4月入学生(10期生)	前期	9	0	9	0	9
	後期	2	0	2	0	2
平成26年4月入学生(11期生)	前期	11	0	9	2	11
	後期	1	1	2	0	2
平成27年4月入学生(12期生)	前期	6	0	3	3	6
	後期	1	0	1	0	1
平成28年4月入学生(13期生)	前期	5	2	3	4	7
	後期	2	0	2	0	2
合計	前期	90	9	86	13	99
	後期	20	8	25	3	28



大学院講義



大学院生室

別科助産専攻



別科助産専攻開設の趣旨

沖縄県の新生児死亡率や周産期死亡率、死産率は全国平均と比較し高率であることから、本島内に2か所の高度周産期医療を担うセンターが開設され、母子医療の改善が図られている。しかし、マンパワー不足に起因する問題が発生している。それは産婦人科医師の不足による公立病院産科の閉院や存続の危機、産科病院や診療所の助産師不足による助産及び母子へのケア提供不足の状況である。さらに多くの有人離島を抱える本島では、離島妊産婦へも必要な母子保健医療の提供が求められている。

これまで本県の産科施設では正常・異常に関わらず妊産婦管理は医師が中心的役割を担っていたが、産婦人科医師の不足により、今後は正常な妊産婦の母子保健管理・助産には助産師の主体的参加が期待されている。

教育目標

- 沖縄県の抱える課題に応じ、母子の健康を守るとともに、現状を改善する能力を養う。
- ライフサイクル各期の女性に対し、母性保健の視点から健康の保持増進の援助ができる能力を養う。
- 助産師として自律するとともに、他職種との連携やチームアプローチを通し、専門職業人として沖縄県の母子保健医療に貢献できる能力を養う。
- 科学的根拠に基づいた助産ケアが提供できるよう自らを教育できる能力を養う。

カリキュラムの概要 修業年限1年

前期	後期
講義 基礎助産学等 演習 助産診断・技術学演習等	助産実習(NICU実習含む) ウィメンズヘルス実習* 離島実習* *選択科目

← 助産研究(通年) →

助産師国家試験合格率

実施年度	受験者(人)	合格者(人)	合格率
平成20年度	19	19	100.0
平成21年度	20	15	75.0
平成22年度	19	18	94.7
平成23年度	19	19	100.0
平成24年度	19	19	100.0
平成25年度	20	20	100.0
平成26年度	17	17	100.0
平成27年度	20	20	100.0
合計	154	147	95.5

平成27年度
修了生の就職先

- 沖縄県立病院(8人)
- 糸数病院(2人)
- 那覇市立病院(1人)
- 沖縄協同病院(1人)
- 当山産婦人科医院(1人)
- 南部徳洲会病院(2人)
- 沖縄赤十字病院(1人)
- 中頭病院(2人)
- 琉球大学医学部附属病院(2人)

Voice 在校生の声



平成28年度入学

別科助産専攻 宮城 若奈

「やっとできた子どもで、小さく生まれて心配もしたが、ここまで、たくさんの人の支えがあって育ってきたんだよ。」この与えられた命に感謝しつつ、今度は私が人の役に立ちたいと思いついて助産師の道を選びました。講義やグループワークで課題をやり遂げた達成感、分娩介助での命を預かる責任感の重さや生命の誕生の瞬間に立ち会える感動がありました。同じ夢に向かって切磋琢磨し合える仲間や、教員、病院スタッフの支えや温かい励ましがあり、充実した1年間を過ごすことができました。県内には若年妊娠や周産期死亡の高率など多くの課題が現状にあります。一つ一つの命に向き合い、対象の方に寄り添える助産師を目指し、沖縄県の母子保健に貢献していきたいと思っています。

地域連携 Social Contribution

沖縄県立看護大学では、地域社会との幅広い連携協力や地域の課題への提言などを通じて地域貢献を推進しています。主な活動として「実習先との協働事業」、「卒業生・修了生、同窓会との協働事業」、「近隣地域とのまちづくりの協働事業」、「島嶼地域との協働事業」などがあります。

その中で、「近隣地域とのまちづくりの協働事業」では、与儀小学校区まちづくり協議会主催の「よぎっ子まつり」への参加、看大祭での地域理解を行っています。また、「島嶼地域との協働事業」では、教育機関（小学校）との連携で、キャリア教育を通して看護職への関心を持つ機会をつくることを目的に、大学見学、地域保健看護実習などの島嶼地域での臨地実習中に看護大学生による健康教育の実施や教員による出前講座を行っています。

01 看大祭での地域理解

看大祭では与儀地区周辺の小学生から高校生までで構成される「彩風」にエイサーの演舞を行って頂きました。また「大石公園 ヒージャー愛好会」からヤギをお借りし、来場者がヤギと触れ合う場を設けました。



02 よぎっ子まつりへ参加

与儀小学校区まちづくり協議会の皆さんと一緒に「よぎっ子まつり」へ参加させて頂きました。プラバン作りでは、終了時間になっても一生懸命絵を描いている女の子に、学生は寄り添い、絵を完成させることをサポートしていました。このような場を通して、学生は看護する上で大切な人との関わり方を学ばせて頂いていることに感謝しています。



03 小学生による大学見学

本学では、大学が地域貢献できることを一緒に考えていく機会になること、同時に子どもたちの将来の職業選択のきっかけづくりになることを期待し、小学生と保護者を対象にした“大学見学ツアー”を開催しています。親子で和やかな雰囲気の中、血圧測定や心肺蘇生、赤ちゃんの抱っこ体験、心理学のミニ講義を体験しました。参加した子どもたちからは、「赤ちゃんは生まれて何ヶ月しかたっていないのに、重くてびっくりした!」「初めて聞いた心理学に、興味がわいた!」「看護師の体験ができて、嬉しかった」などの感想が寄せられました。



04 島嶼地域での実習を通じたキャリア教育

4年次の学生が地域保健看護実習で宮古島、八重山地域の児童生徒へ「目の健康」、「睡眠」などの健康教育と併せて「看護大学について」の講話を行いました。終了後、「看護大学に男子学生もいることに驚いた」「保健師、助産師、看護師の免許が取得できることがわかった」などの感想が聞かれました。



国際交流 International Exchange

ハワイ研修

沖縄県立看護大学では、開学3年目の平成13年から毎年夏休みを利用して、ハワイ大学マノア校及びカウアイ・コミュニティ・カレッジで3週間の研修を行っています。研修目的は、英会話によるコミュニケーション能力を高めること、ハワイの保健福祉事情を理解すること、異文化の人々と暮らすについて理解を深めることです。平成28年度で研修は16回目を迎え、参加学生の満足度の高いプログラムになっています。



ハワイ研修に参加して

看護学部 新垣 里莉

ハワイ研修ではフラダンスやロミロミマッサージなど様々な体験をしながら、その持つ意味・ハワイの人々の想いなど心と体の両方で異文化を学ぶ機会が充実していました。また病院見学や大学でのシミュレーション体験などから、アメリカの保健医療制度を学び、そこからアメリカ・ハワイの良さとともに改めて日本・沖縄の良さを感じることができました。研修で得たグローバルな視野を今後の学習・看護につなげていきたいと思っています。



JICA研修受け入れ

2015年7月に平成27年度JICA研修を受け入れ、中・南米の国々から12名の研修員が来られました。大学紹介、基礎看護での講義・演習、助産介助に関する学生への教育についての講義、国際保健看護を履修している4年次学生9名との交流会を実施しました。この研修プログラムは、研修員が本学での研修を通して日本の看護・助産教育の理解を深め、それぞれの国に戻られてから何らかの形で現場に還元できることを期待して毎年、実施されています。今後も、国際交流および国際協力に貢献できる人材育成に寄与します。



施設

Campus Facilities

充実した教育と
快適な学生生活をサポートする
恵まれた学習環境



体育館



学生食堂



校舎



大講義室



基礎看護実習室



附属図書館

Library

沖縄県内でも随一の看護系所蔵図書冊数を誇る附属図書館は本学の学生のみならず周辺地域の学生や他校の看護学生、卒業生、臨床の看護師で賑わっています。

蔵書数		(平成28年12月31日現在)
図書	59,013冊	
受入冊数	1,350冊	
雑誌タイトル	2,839タイトル	
購入タイトル	266タイトル	

実習施設一覧

(平成28年度)

学部 (103施設)

医療機関

沖縄県立南部医療センター・こども医療センター
 沖縄県立中部病院
 沖縄県立宮古病院
 地方独立行政法人 那覇市立病院
 日本赤十字社 沖縄赤十字病院
 社会医療法人 敬愛会 中頭病院
 社会医療法人 敬愛会 ちばなクリニック
 医療法人 友愛会 豊見城中央病院
 医療法人 友愛会 南部病院
 沖縄県立精和病院
 医療法人 卯の会 新垣病院
 医療法人 平安病院
 公立 久米島病院
 特定医療法人 葦の会 オリブ山病院
 独立行政法人 国立病院機構 沖縄病院
 医療法人 がじまるの会 系数病院
 社会医療法人 かりゆし会 ハートライフ病院
 社会医療法人 仁愛会 浦添総合病院
 沖縄県立八重山病院
 医療法人 わらべの会 わんぱくクリニック
 医療法人 寿仁会 沖縄セントラル病院
 特定医療法人 アガベ会 北中城若松病院
 アドベンチストメディカルセンター
 独立行政法人 国立病院機構 琉球病院

保健・福祉関連施設

沖縄県助産師会 母子未来センター
 特定非営利活動法人 ふれあいセンター
 特定非営利活動法人 ワークサポートひかり
 NPO法人 ふいーのどばわー
 有限会社 豆工房
 地域支援ホーム 津堅いこいの家
 グループホーム やすらぎの家
 グループホーム わかまつ
 小規模多機能型居宅 介護支援事業所 ノア
 那覇市小禄老人福祉センター
 那覇市識名老人福祉センター
 那覇市金城老人憩の家
 那覇市末吉老人福祉センター
 那覇市壺川老人福祉センター
 日赤安謝福祉複合施設(老人憩の家)
 グループホーム たかまーみの家
 医療法人 HSR 名嘉村クリニック
 在宅ケアセンター 若松 きたなかぐすく
 訪問看護ステーションリズム
 訪問看護ステーションみやこ
 一般財団法人 沖縄県健康づくり財団
 浦添総合病院健診センター
 沖縄南部療育医療センター
 沖縄中部療育医療センター
 訪問看護ステーションはえばる
 つるかめ訪問看護ステーション
 ふたば訪問看護ステーション
 オリブ山訪問看護ステーション
 訪問看護ステーション青空

(有)福祉ネットワーク・やえやま あかゆら
 きゅ〜ぬふから舎
 訪問看護ステーションおもと園
 訪問看護ステーション若松
 訪問看護ステーションなかがみ
 沖縄県中部保健所
 沖縄県南部保健所
 沖縄県宮古保健所
 沖縄県八重山保健所
 那覇市保健所

検診機関等
 全国健康保険協会 沖縄支部
 北部地区医師会病院 健康管理センター
 中部地区医師会立 成人病検診センター

市町村

沖縄市役所
 読谷村役場
 嘉手納町役場
 那覇市役所
 糸満市役所
 豊見城市役所
 八重瀬町保健センター
 南城市役所
 南風原町役場
 西原町役場
 座間味村役場
 渡名喜村役場
 宮古島市役所
 石垣市健康福祉センター
 恩納町役場
 金武町役場
 竹富町役場
 粟国村役場
 南大東村役場
 宜野湾市役所
 東村役場
 本部町役場
 久米島町役場
 与那国町役場

保育所

若狭浦保育所
 久場川保育所
 与儀保育所
 大道保育所
 宇栄原保育所
 社会福祉法人 報徳福祉会 童の城保育園
 社会福祉法人 若杉福祉会 城北保育園
 社会福祉法人 郵住協福祉会 あじゃ保育園
 社会福祉法人 風信子館 風のうた保育園
 社会福祉法人 養秀福祉会 首里当蔵保育園
 社会福祉法人 玉重福祉会 第2愛心保育園
 社会福祉法人 さくら会 さくら保育園
 社会福祉法人 那覇垣花福祉会 鏡原保育園

教育機関

県立泡瀬特別支援学校

大学院 (27施設)

医療機関

沖縄県立南部医療センター・こども医療センター
 沖縄県立宮古病院
 沖縄県立八重山病院
 地方独立行政法人 那覇市立病院
 アドベンチスト メディカルセンター
 社会医療法人 仁愛会 浦添総合病院
 医療法人 おもと会 大浜第一病院
 医療法人 天仁会 天久台病院
 医療法人 がじまるの会 系数病院
 与那国町診療所
 医療法人 HSR 名嘉村クリニック
 医療法人 わらべの会 わんぱくクリニック
 医療法人 貴和の会 すながわ内科クリニック
 愛知県がんセンター中央病院
 新国内科医院
 大阪府立母子保健総合医療センター
 大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター

保健・福祉施設

名嘉村クリニック在宅ケアセンター
 きゅ〜ぬふから舎
 児童養護施設ならさ
 グループホームひめゆり
 サポートセンターどりいむ

市役所、教育機関、その他

渡嘉敷村役場
 竹富町役場
 竹富町立波照間保育所
 与那国町役場
 繁多川公民館

別科助産専攻 (16施設)

アドベンチスト メディカルセンター
 医療法人 がじまるの会 系数病院
 医療法人 海秀会 うえむら病院
 医療法人 なしろ 名城病院
 沖縄医療生活協同組合 沖縄協同病院
 沖縄県立中部病院
 沖縄県立南部医療センター・こども医療センター
 沖縄県立北部病院
 沖縄県立八重山病院
 沖縄赤十字病院
 医療法人 仁清会 かみや母子のクリニック
 医療法人 杏月会 空の森クリニック
 当山産婦人科医院
 医療法人 友愛会 豊見城中央病院
 公立久米島病院
 久米島町役場

沿革

平成11	4月	沖縄県立看護大学開学
	6月	沖縄県立看護大学 後援会設立総会開催
	7月	開学記念式典・祝賀会・記念講演を開催
	11月	第1回キャンパスフェアを開始 (平成12年度に「看大祭」に改称・以後毎年開催)
平成12	8月	第1回オープンキャンパス開催(以後毎年開催)
平成13	7月	ハワイ大学との学術交流協定締結 第1回海外研修セミナー ハワイ2001実施 (3週間・以後毎年実施)
平成15	3月	第1回卒業式
平成16	4月	沖縄県立看護大学大学院 博士前期課程・ 博士後期課程開設
平成18	3月	第1回大学院修了式 博士前期課程 第1期生修了
平成19	3月	博士後期課程 第1期生修了 大学機関別認証評価(1回目)
平成20	4月	沖縄県立看護大学 別科 助産専攻 開設
	9月	文部科学省助成 「島嶼環境を活かして学ぶ保健看護の教育実践」・ 「島嶼看護の高度実践指導者の育成」採択
10月		開学10周年記念式典・祝賀会・記念講演を開催
平成21	3月	第1回別科助産専攻修了式
	7月	沖縄県立看護大学同窓会統合記念総会
	9月	文部科学省助成 「看護系大学から発信する ケアリング・アイランド九州沖縄構想」連携校
平成23	2月	専門看護師教育課程の認定 (精神看護・老年看護、がん看護、慢性疾患看護) 台北医学大学との学術交流協定締結
平成23	10月	文部科学省助成 「専門的看護師・薬剤師等医療人材養成事業」採択
	11月	地域医療再生基金「島しょ・へき地の看護職者の人材 養成・人材確保事業」採択
平成24	9月	文部科学省助成「多価値尊重社会の実現に寄与する 学生を養成する教育共同体の構築」採択
平成26	3月	専門看護師教育課程の認定(小児看護) 大学機関別認証評価(2回目) 大学機関別選抜評価(1回目)
	11月	地域医療介護総合確保基金「島しょ・へき地の地域 包括ケアシステム構築支援事業」採択
平成27	2月	国立大学法人琉球大学、公立大学法人名桜大学、 沖縄県警察本部との「安全・安心なまちづくりに関する 協定書」を締結
	3月	「沖縄県立看護大学あり方検討委員会」発足 プライマリケア看護NP教育課程の認定
平成28	10月	「世界のウチナーンチュ・ナースデイ」開催

教員一覧 (平成29年4月現在)

看護学部			
教養科目			
保健医療情報	教授	金城 芳秀 ※	
社会科学系科目及び外国語	准教授	山口賢一	
外国語	講師	山城 綾子	
専門教養科目			
人体構造・機能学系			
図書館長兼教授	佐伯 宣久 ※		
保健医療学系			
教授	新城 正紀 ※		
保健社会学系			
准教授	渡久山 朝裕 ※		
専門科目			
基礎看護		老年保健看護	
教授	宮城 恵子 ※	学部長兼教授	大湾 明美 ※
准教授	金城 忍 ※	准教授	田場 由紀 ※
准教授	宮里 智子 ※	准教授	赤星 成子 ※
助教	高橋 幸子	助教	山口 初代
助手	山川 和歌子	助手	砂川 ゆかり
小児保健看護		精神保健看護	
教授	永島 すえみ ※	教授	藤野 裕子 ※
准教授	上原 和代 ※	准教授	大川 嶺子 ※
講師	山本 真充	准教授	村上 満子 ※
助教	當間 紀子	助手	仲本 勉
助手	田口 尚子		
母性保健看護・助産		地域保健看護・国際保健看護・ 島嶼保健看護	
准教授	賀数 いうみ ※	教授	川崎 道子 ※
准教授	井上 松代 ※	准教授	牧内 忍 ※
助教	西平 朋子	講師	長堀 智香子
助手	下中 壽美	助教	岡崎 実子
助手	比嘉 麻巳	助教	知念 真樹
成人保健看護			
学生部長兼教授	神里 みどり ※	助教	宮城 裕子
教授	山本 敬子 ※	助手	源河 朝治
准教授	謝花 小百合 ※		
准教授	赤嶺 伊都子 ※		
別科 助産専攻			
教授	照屋 清子		
講師	知念 久美子		
講師	前田 すぎの		

※は大学院兼務の教員

学生募集要項について

1. 募集要項の種類と配付時期

看護学部	特別選抜学生募集要項	平成29年8月中旬(公表後)
	一般選抜学生募集要項	平成29年9月上旬(公表後)
大学院	学生募集要項(博士前期・後期)	平成29年6月上旬(公表後)
別科助産専攻	学生募集要項(推薦選抜・社会人特別選抜)	平成29年8月中旬(公表後)
	学生募集要項(一般選抜)	平成29年9月上旬(公表後)

2. 請求方法

テレメールによる請求

http://telemail.jp/ IP電話 **050-8601-0101** (24時間受付)

資料請求番号

大学案内: **568200**
 入学者選抜要項: **568220**
 募集要項(一般選抜): **588200**
 募集要項(特別選抜): **588210**
 大学案内・募集要項(一般選抜): **548300**

このQRコードで直接アクセスできます。
※対応するスマホ・携帯電話で読み取れます。

※一般電話回線からの通話料金は日本全国どこからでも3分毎に約12円です。
 ※自動音声応答電話によるご請求の場合、住所・名前の登録時は、ゆっくりはっきりとお話し下さい。登録された音声不鮮明な場合は資料をお届けできないことがあります。

<上記の請求方法についての問い合わせ先>テレメールカスタマーセンター 050-8601-0102 (9:30~18:00)

ホームページから請求

大学のホームページから直接資料請求ができます。 **http://www.okinawa-nurs.ac.jp/**

郵送による請求

- 封筒の表に請求する募集要項の名称(上記1参照)を朱書する。
- 返信用封筒(角型2号・33cm×24cm)を同封すること。なお、返信用封筒には、あて先(請求者の郵便番号、住所、氏名)を明記し、250円切手(速達希望者の場合は530円切手)を貼付すること。沖縄県立看護大学 住所:〒902-8513 沖縄県那覇市与儀1丁目24番1号

※資料は受付から2、3日で送付されます。ただし、受付時間や地域、配達事情によっては4日以上かかる場合もあります。なお、発送開始日までのご請求は予約受付となり、発送開始日になりましたら一斉に発送します。料金は、お届けした資料に同封の料金支払い用紙をご確認の上、お支払い下さい。



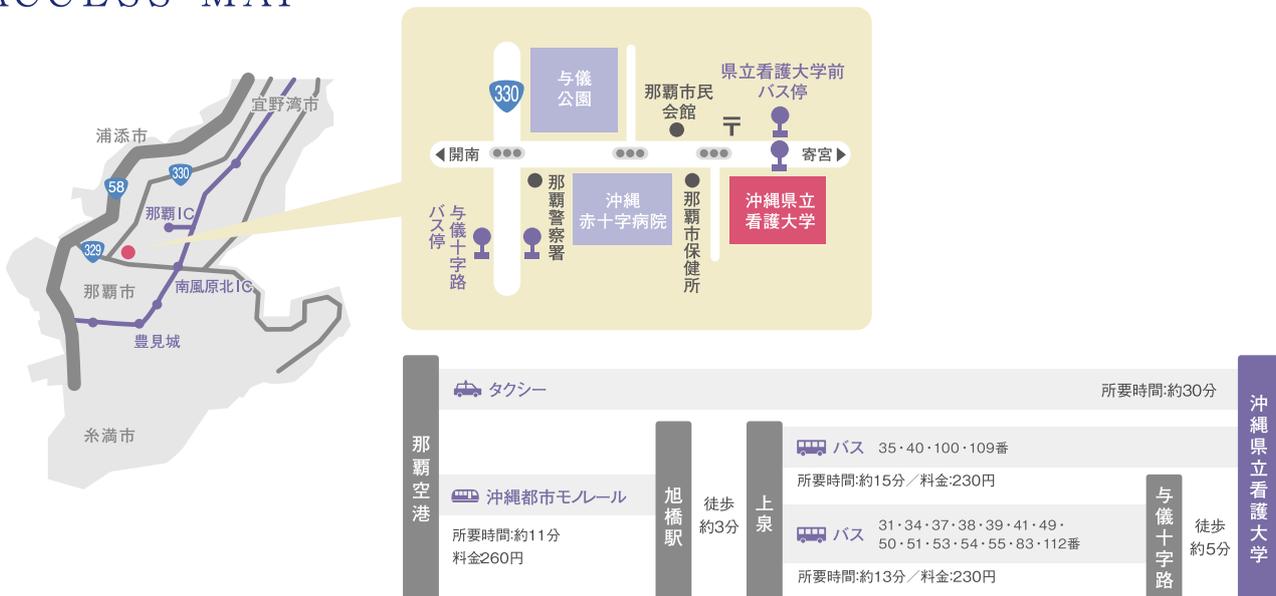
<学章について>

人間が人間を支えていく人材を世に送り出す看護大学としてのイメージをNURSING(看護)の英語頭文字のNの文字によって人体をデザイン化し、シンボライズしました。

沖縄県立看護大学の歌
 作詞 新城正紀 作曲 林達郎

一、 人々の 生命の尊さ 大切に
 人のやさしさに ふれあえば
 看護の知識 学びは深く
 友と語りて 師に励まされ
 豊かな心で 看護を学ぶ
 我らが 沖縄県立看護大学
 地球に 生きる生命を 大切に
 病める人々の 声を聞く
 珊瑚の海越え 愛しみ広げ
 世界に飛び立つ 大志を抱け
 広き視野もて 看護を学ぶ
 我らが 沖縄県立看護大学
 おだやかな 陽ざしあふれる
 そよ風吹きて 木々ゆらす
 色とりどりの 花の癒し
 小鳥のさえずりに 日々励まされ
 希望を胸に 看護を学ぶ
 我らが 沖縄県立看護大学
 三、 校舎は まなびや

ACCESS MAP




沖縄県立看護大学
 Okinawa Prefectural College of Nursing

〒902-8513 沖縄県那覇市与儀1丁目24番1号 TEL(098)833-8800 FAX(098)833-5133

<http://www.okinawa-nurs.ac.jp>